

第2回 防災対策官民協働委員会議事概要

日 時	平成 24 年 9 月 5 日 (水) 13:30~16:00
会 場	佐渡市役所 2 階第 1 会議室
出席者	<p>アドバイザー：田村圭子（新潟大学危機管理室教授）</p> <p>民：小池正容委員長 佐々木隆正副委員長 岩崎政敏 隅田敏子 松永兼春 中嶋羊一</p> <p>官：本間聡（総務課） 中原岳史（総務課） 菊池慎也（消防本部警防課） 市橋法子（総合政策課）</p> <p>事務局：伊藤修（総務課） 秋場和久（総務課）</p>
議 題	<p>① 地域防災リーダーの養成について</p> <p>② 地域防災リーダー育成事業について</p> <p>③ 地域防災リーダー活用制度について</p> <p>④ 避難所の現状と課題</p>
議事概要	<p>本日、田村アドバイザーに出席していただいたため、委員の自己紹介をした後に協議に入った。</p> <p>① 地域防災リーダーの養成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐々木副委員長より日本防災士機構の説明。 (主な意見) ・自治会長等が自主防災組織の会長となっているが毎年変わるため効率よく機能していない。 ・自治会等とは別に防災独自の組織を作る必要があるのでは。 <p>② 地域防災リーダー育成事業について</p> <p>③ 地域防災リーダー活用制度について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「資料 2」及び「資料 3」に基づき、上越市及び妙高市が実施している補助金制度、防災アドバイザー制度等を説明。 ・上越市の取組みを参考としたい。 (主な意見) ・防災アドバイザーや防災リーダーよりも、まずは防災士をふやしてはどうか。 ・災害ボランティア等が現地派遣するときに資機材・用品（寝袋等）を貸し出す体制を整えてほしい。 <p>④ 避難所の現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「佐渡市ハザードマップ」及び「避難所一覧」を基に、現状と課題を説明。 ※民間委員からの特筆すべき意見なし。

	<p>田村アドバイザーより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災啓発をすることは大切。底辺の拡大。 ・防災士 = リーダーとは限らない。 ・平常時の活動と非常時の活動を整理しておくことが大切。 ・佐渡らしい防災アドバイザー制度の確立を勧める。
<p>次回検討 事項</p>	<p><次回以降の協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一時避難所の今後の取扱 ・リーダー養成方法 <p><今後の日程></p> <p>第3回：平成24年9月21日（金）13：30～</p> <p>第4回：平成24年10月9日（火）13：30～</p>